

1. 研究会の開催状況

(1) 研究会の開催日は次のとおりである。

- ・ 第1回研究会 / 平成21年10月19日
- ・ 第2回研究会 / 平成22年1月25日
- ・ 第3回研究会 / 平成21年4月29日
- ・ 第4回研究会 / 平成21年8月23日
- ・ 第5回研究会 / 平成22年10月24日

(2) 各研究会の状況は、次のとおりである。

▽ 第1回研究会 / 平成21年10月19日 / 10:00~15:00

開会に先立ち、各委員に総務部長から委嘱状を交付

- 1) 総務部長あいさつ
- 2) 委員自己紹介
- 3) 竹島問題研究会（第2期）趣旨説明
- 4) 座長選出 ... 下條正男氏（拓殖大学教授）を選出
- 5) 副座長選出 ... 杉原隆氏（島根県竹島問題研究顧問）を選出
- 6) 会議の運営について

○ 座長から「竹島問題に関する基本的姿勢」が提出され、これを基に意見交換が行われた。協議の結果、次のとおり意見が集約された。

- ・ 研究テーマは、戦後の竹島問題の研究がメインとなるが、具体的なテーマについてはさらに検討し、次回まとめる。
- ・ 研究会最終報告書や島根県の見解に対する批判に対して研究し、反論していく。
- ・ 研究成果の公表については、逐次県のホームページで公表する。英語、ハングルでの情報発信を検討し、新しい啓発パンフレットの作成も検討する。
- ・ 今後のスケジュールについては、3ヶ月に1回程度開催し、2年間の活動とする。

▽ 第2回研究会 / 平成22年1月25日 / 10:00~15:00

1) 調査・研究活動の状況について

○ 各委員から資料が提出され、意見交換が行われた。

- ・ 鳥取県在住の蒐集家所蔵「磯竹島、松島図」について
- ・ 鬱陵島及び竹島関連の地図の検討「嶺南大学校所蔵地図コレクションより」
- ・ 関東在住の古地図等蒐集家所蔵地図等について
- ・ 韓国啓明大学でのシンポジウムの状況等について
- ・ 「竹島外一島之儀本邦関係無之」について再考- 明治14年大屋兼助外一名の「松島開拓願い」を中心に-
- ・ 李承晩ラインをめぐる諸問題（漁業問題と竹島問題、日韓会談の開始と竹島問題、李承晩ラインの解体）

▽ 第3回研究会 / 平成22年4月29日 / 14:00~17:00

1) 委員の交代等について

退任 板倉富士夫委員（前島根県教育庁義務教育課指導主事）

就任 曾田和彦委員（島根県教育庁義務教育課指導主事）

山岡尚委員（島根県環境生活部廃棄物対策課長）

2) 調査・研究活動の状況について

- 各委員から資料が提出され、意見交換が行われた。
 - ・ 竹島問題の韓国の動向
 - ・ 竹島学習副教材DVDによる学習の現状について
 - ・ 地図、絵図について最近の研究より
 - ・ 韓国嶺南大学校独島研究所「『竹島問題に関する調査研究 最終報告書』に対する批判」への反論
 - ・ 竹島問題における韓国の“論理”の検討

▽ 第4回研究会 / 平成22年8月23日 / 13:00～16:00

1) 調査・研究活動の状況について

- 各委員から資料が提出され、意見交換が行われた。
 - ・ 竹島問題の韓国の動向
 - ・ 平成21年度竹島に関する学習の実施状況について
 - ・ 最近の調査報告
 - ・ 1905年竹島編入直前のロシア側資料についての一考察
 - ・ 竹島の領有権をめぐる戦後の動向－国際法の観点から－
 - ・ 韓国嶺南大学校独島研究所「『竹島問題に関する調査研究 最終報告書』に対する批判」へのコメント

2) 中間報告の取りまとめについて

- 事務局から中間報告書の構成及びスケジュール等の案が提出され、意見交換が行われた。
 - ・ これまでの研究会（第5回研究会を含む）で議論となった項目については、できるだけ中間報告に取り上げる方向で考える。
 - ・ 10月開催予定の第5回研究会で中間報告の取りまとめを行い、平成22年12月中に作成する方向で意見が集約された。

▽ 第5回研究会 / 平成22年10月24日 / 14:00～17:00

1) 調査・研究活動の状況について

- 各委員から資料が提出され、意見交換が行われた。
 - ・ 米軍政期韓国の独島／竹島認識
 - ・ 竹島／独島研究における第三の視角

2) 中間報告の取りまとめについて

- 事務局から中間報告書の構成や盛り込む内容の案が示され、意見交換が行われた。
 - ・ 中間報告書の構成、盛り込む内容等について取りまとめられた。
 - ・ 県への提出は、中間報告書ができ次第行うこととなった。